

配偶者暴力等に関する保護命令申立書（再度）

福岡地方裁判所 御中

平成 年 月 日

申立人

印

当事者の表示

（申立人）

郵便番号 〒 -

住所

氏名

（相手方）

郵便番号 〒 -

住所

送達場所

氏名

申立ての趣旨

別紙「申立ての趣旨」記載の裁判を求める。

申立ての理由

別紙「申立ての理由」記載のとおり

印紙貼付欄 1000円	収入印紙 1000 円	確認印	受付印
	予納郵券 円		
備考欄			

申立ての趣旨

(ただし については 内にしを付したもの)

1〔退去命令〕

相手方は、平成____年____月____日*1から起算して2か月間、申立人と共に生活の本拠としている住居から退去せよ。

相手方は、平成____年____月____日*2から起算して2か月間、上記住居の付近をはいかいしてはならない。

2〔接近禁止命令〕

相手方は、平成____年____月____日*3から起算して6か月間、申立人の住居（相手方と共に生活の本拠としている住居を除く。以下同じ。）その他の場所において申立人の身辺につきまとい、又は申立人の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

3〔電話等禁止命令〕

相手方は、命令の効力が生じた日以後、平成____年____月____日*4から起算して6か月間、申立人に対して次の各号に掲げるいずれの行為もしてはならない。

面会を要求すること。

その行動を監視していると思わせるような事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。

著しく粗野又は乱暴な言動をすること。

電話をかけて何も告げず、又は緊急やむを得ない場合を除き、連続して、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、若しくは電子メールを送信すること。

緊急やむを得ない場合を除き、午後10時から午前6時までの間に、電話をかけ、ファクシミリ装置を用いて送信し、若しくは電子メールを送信すること。

汚物、動物の死体その他の著しく不快又は嫌悪の情を催させるような物を送付し、又はその知り得る状態に置くこと。

その名誉を害する事項を告げ、又はその知り得る状態に置くこと。

その性的羞恥心を害する事項を告げ、若しくはその知り得る状態に置き、又はその性的羞恥心を害する文書、図画その他の物を送付し、若しくはその知り得る状態に置くこと。

4〔子への接近禁止命令〕

相手方は、命令の効力が生じた日以後、平成____年____月____日*5から起算して6か月間、別紙記載の申立人の子の住居（相手方と共に生活の本拠としている住居を除く。以下同じ。）就学する学校その他の場所において当該子の身辺につきまとい、又は当該子の住居、就学する学校その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

5〔親族等への接近禁止命令〕

相手方は、命令の効力が生じた日以後、平成____年____月____日*6から起算して6か月間、別紙記載の親族等の住居（相手方と共に生活の本拠としている住居を除く。以下同じ。）その他の場所において当該親族等の身辺につきまとい、又は当該親族等の住居、勤務先その他その通常所在する場所の付近をはいかいしてはならない。

6 申立費用は、相手方の負担とする。

*1,2,3,4,5,6 前に発令された保護命令の期間満了日の翌日を記入する。

申立ての理由

(ただし については 内にレを付したもの)

1 申立人と相手方との同居の有無及び同居開始時期

- (1) 申立人は、相手方と
現在も、同居（生活の本拠を共にするもの）しています。
（ただし、一時避難中）
私と相手方、子以外の同居者はいません。
私と相手方、子以外の同居者は、_____です。
現在、既に別居（生活の本拠が異なるもの）しています。
- (2) 相手方と同居（生活の本拠を共にするもの）を始めたのは、
昭和・平成 _____年 _____月ころです。

2 当事者

- (1) 私の職業は、（_____）です。
- (2) 相手方の職業は、（_____）です。
- (3) 私と相手方との関係は、次のとおりです。
相手方と婚姻関係にある又は以前婚姻関係にあった場合
・私と相手方は、昭和・平成 _____年 _____月 _____日婚姻届を提出しました。
・私と相手方は、平成 _____年 _____月 _____日離婚届を提出しました。
相手方と内縁関係にある又は内縁関係にあった場合
・私と相手方は、婚姻届を提出していませんが、昭和・平成 _____年 _____月 _____日
から夫婦として生活しています（内縁関係）。
・相手方との内縁関係を解消したのは、平成 _____年 _____月 _____日です。
相手方が交際相手又は元交際相手である場合
・相手方と生活の本拠を共にする交際を始めたのは、昭和・平成 _____年 _____月
_____日ころです。
・私が、相手方との生活の本拠を共にする交際を解消したのは、平成 _____年
_____月 _____日ころです。
- (4) 私には、子はいません。
私には、子が _____人います。
このうち、子への接近禁止命令を求めるのは、別紙記載のとおりです。

3 相手方から受けた主な暴力又は生命等に対する脅迫の状況等

(ただし については 内にレを付したもの)

前に保護命令が発せられた以降に、相手方から暴力や脅迫を受けたことはありません。
前に保護命令が発せられた以降に、相手方から暴力や脅迫を受けたことがあります。
その内容は、下記のとおりです。

(1) 平成 年 月 日 ころ

場所は、 相手方と共に生活の本拠としている住居で

(上記以外の) _____ で

その時の(身体に対する暴力, 生命等に対する脅迫)の内容

そのときは、けがを _____ しませんでした。
_____ しました。

(けがの内容)

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、 入院 _____ 日間が必要でした。

通院 _____ 日間が必要でした。

入通院先の名称 _____

その暴力・脅迫について、配偶者暴力相談支援センターあるいは警察に
相談、援助あるいは保護を求めませんでした。

相談、援助あるいは保護を求めました。

(相談日時) 平成 年 月 日 ころ

(相談した場所) 警察(_____ 県 _____ 警察署)

福岡県女性相談所(配偶者暴力相談支援センター)
それ以外の配偶者暴力相談支援センター
(名称: _____)

(相談内容) 相手方から受けた暴力, 生命・身体に対する脅迫
今後, 暴力を受けるおそれがあること
子への接近禁止命令を求める事情
親族等への接近禁止命令を求める事情
その他(_____)

(措置の内容) 一時保護
保護命令制度についての情報提供
その他(_____)

(2) 平成 年 月 日 ころ

場所は、相手方と共に生活の本拠としている住居で

(上記以外の) _____ で

その時の(身体に対する暴力、生命等に対する脅迫)の内容

そのときは、けがを _____ しませんでした。

_____ しました。

(けがの内容)

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、入院 _____ 日間が必要でした。

通院 _____ 日間が必要でした。

入通院先の名称 _____

その暴力・脅迫について、配偶者暴力相談支援センターあるいは警察に
相談、援助あるいは保護を求めませんでした。

相談、援助あるいは保護を求めました。

(相談日時) 平成 年 月 日 ころ

(相談した場所) 警察(_____ 県 _____ 警察署)

福岡県女性相談所(配偶者暴力相談支援センター)

それ以外の配偶者暴力相談支援センター

(名称: _____)

(相談内容)

相手方から受けた暴力、生命・身体に対する脅迫

今後、暴力を受けるおそれがあること

子への接近禁止命令を求める事情

親族等への接近禁止命令を求める事情

その他(_____)

(措置の内容)

一時保護

保護命令制度についての情報提供

その他(_____)

(3) 平成 年 月 日 ころ

場所は、相手方と共に生活の本拠としている住居で

(上記以外の) _____ で

その時の(身体に対する暴力、生命等に対する脅迫)の内容

そのときは、けがを _____ しませんでした。

_____ しました。

(けがの内容)

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、入院 _____ 日間が必要でした。

通院 _____ 日間が必要でした。

入通院先の名称 _____

その暴力・脅迫について、配偶者暴力相談支援センターあるいは警察に
相談、援助あるいは保護を求めませんでした。

相談、援助あるいは保護を求めました。

(相談日時) 平成 年 月 日 ころ

(相談した場所) 警察(_____ 県 _____ 警察署)

福岡県女性相談所(配偶者暴力相談支援センター)

それ以外の配偶者暴力相談支援センター

(名称: _____)

(相談内容)

相手方から受けた暴力、生命・身体に対する脅迫

今後、暴力を受けるおそれがあること

子への接近禁止命令を求める事情

親族等への接近禁止命令を求める事情

その他(_____)

(措置の内容)

一時保護

保護命令制度についての情報提供

その他(_____)

(4) 平成 年 月 日 ころ

場所は、相手方と共に生活の本拠としている住居で

(上記以外の) _____ で

その時の(身体に対する暴力、生命等に対する脅迫)の内容

そのときは、けがを _____ しませんでした。

_____ しました。

(けがの内容)

医師の治療は受けませんでした。

治療のために、入院 _____ 日間が必要でした。

通院 _____ 日間が必要でした。

入通院先の名称 _____

その暴力・脅迫について、配偶者暴力相談支援センターあるいは警察に
相談、援助あるいは保護を求めませんでした。

相談、援助あるいは保護を求めました。

(相談日時) 平成 年 月 日 ころ

(相談した場所) 警察(_____ 県 _____ 警察署)

福岡県女性相談所(配偶者暴力相談支援センター)

それ以外の配偶者暴力相談支援センター

(名称: _____)

(相談内容)

相手方から受けた暴力、生命・身体に対する脅迫

今後、暴力を受けるおそれがあること

子への接近禁止命令を求める事情

親族等への接近禁止命令を求める事情

その他(_____)

(措置の内容)

一時保護

保護命令制度についての情報提供

その他(_____)

3 同一の事実により前に保護命令が発せられた事実

保護命令の事件番号等

発令裁判所

地方裁判所

事件番号

平成

年(配子)第

号

告知日

平成

年

月

日

4 再度の保護命令を必要とする事情等

(ただし については 内にレを付したもの)

退去命令について

私は、次のような理由から、先の退去命令の効力発生日から2か月以内に住居からの転居を完了することができませんでした。(その他の再度の退去命令を求める必要があるときは、それを記載する。)

退去命令、接近禁止命令について

相手方からの更なる身体に対する暴力(又は生命等に対する脅迫を受けた後の身体に対する暴力)により生命又は身体に重大な危害を受けるおそれ大きい事情

私は、次のような理由から、今後も、相手方が、私に対し、暴力を振るい、私の生命又は身体に重大な危害を加えるだろうと考えています。

電話等の禁止命令について

電話等の禁止命令を必要とする事情

私は、次のような理由から、相手方に対して電話等を禁止することを求めます。

子への接近禁止命令について

あなたが、別紙記載の申立人と同居している未成年の子に関して相手方と面会することを余儀なくされる事情（子への接近禁止命令を求める場合に記載する。）

私は、次のような理由から、同居している未成年の子に関して相手方と面会することを余儀なくされ、私の生命又は身体に危害が加えられることがあるだろうと考えています。

親族等への接近禁止命令について

あなたが、別紙記載の親族等に関して相手方と面会することを余儀なくされる事情（親族等への接近禁止命令を求める場合に記載する。）

私は、次のような理由から、親族等に関して相手方と面会することを余儀なくされ、私の生命又は身体に危害が加えられることがあるだろうと考えています。

添付書類

申立書写し

戸籍謄本 住民票の写し

戸籍謄本及び住民票の写しは原本提出

陳述書及び同写し

診断書及び同写し

受傷部位の写真及び同写し

子の同意書

子への接近禁止命令を求める場合に、子が15歳以上のとき

親族等の同意書（親族等が15歳未満の者又は成年被後見人である場合は、その法定代理人の同意書）

親族等への接近禁止命令を求める場合

その他

(別 紙)

子

[申立人と同居している未成年の子の表示]

申立人と同居している未成年の子のうち、
接近禁止命令を求める子について記載を
してください。

- | | | |
|-----|----------------------------------|-----------------------------|
| (1) | <small>ふりがな</small>
氏 名 _____ | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 |
| (2) | <small>ふりがな</small>
氏 名 _____ | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 |
| (3) | <small>ふりがな</small>
氏 名 _____ | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 |
| (4) | <small>ふりがな</small>
氏 名 _____ | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 |
| (5) | <small>ふりがな</small>
氏 名 _____ | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 |
| (6) | <small>ふりがな</small>
氏 名 _____ | 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 |

(別 紙)

親族等

[申立人と同居していない未成年の子の表示]

申立人と同居していない未成年の子のうち、
接近禁止命令を求める子について記載を
してください。

(1) ふりがな
氏 名 平成 年 月 日生

(2) ふりがな
氏 名 平成 年 月 日生

(3) ふりがな
氏 名 平成 年 月 日生

(4) ふりがな
氏 名 平成 年 月 日生

(5) ふりがな
氏 名 平成 年 月 日生

[20歳以上の子の表示]

申立人との同居の有無に関わらず、接近禁
止命令を求める子について記載をしてくだ
さい。

(1) ふりがな
氏 名 昭和・平成 年 月 日生

(2) ふりがな
氏 名 昭和・平成 年 月 日生

(3) ふりがな
氏 名 昭和・平成 年 月 日生

(4) ふりがな
氏 名 昭和・平成 年 月 日生

(5) ふりがな
氏 名 昭和・平成 年 月 日生

(別 紙)

親族等

[親族等の表示] 親族等への接近禁止命令を求める場合にのみ記載をしてください。
(「申立人と同居していない未成年の子」及び「20歳以上の子」
に記載した者を除く。)

(1) ^{ふりがな}
氏 名 _____
(申立人との関係 : _____)

(2) ^{ふりがな}
氏 名 _____
(申立人との関係 : _____)

(3) ^{ふりがな}
氏 名 _____
(申立人との関係 : _____)

(4) ^{ふりがな}
氏 名 _____
(申立人との関係 : _____)

(5) ^{ふりがな}
氏 名 _____
(申立人との関係 : _____)

(6) ^{ふりがな}
氏 名 _____
(申立人との関係 : _____)